



## 市民目線で次世代に つながるまちづくりを



自由民主党議員団  
森 竜子 議員

3月7日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について（1）25年度予算案及び24年度追加補正予算案（2）有明圏域定住自立圏における中心市の役割（3）リサイクル発電事業の今後の方向性（4）まちづくりの視点から見た小中学校の再編（5）近代化遺産の維持管理費と活用（6）中心市街地の活性化 ■2 大牟田市の児童・生徒の学力・体力向上について ■3 議会決議・意見に対する市長回答について（1）市民負担の軽減・対策を求める決議に対する取り組み（2）固定資産税の超過税率の逡減

### 市長の政治姿勢について

#### 25年度予算案及び 24年度追加補正予算案

**問** 本市では、国の特別措置として創設された地域経済活性化・雇用創出臨時交付金を活用し、どのような事業に取り組み、また一般財源の支出をどの程度減らすことができるのか。

**答** 小中学校の耐震化や都市下水道整備など、25事業を前倒しや新規として取り組む。交付金の活用で、一般財源2億6,800万円の縮減。25年度においても一般財源の負担及び市債発行額の抑制が図られる。

**問** 財政計画では、27年度に単年度収支が1億6,700万円の赤字になると見込まれており、過疎債の償還などで、さらに厳しくなると思われる。行政は継続性が重要であり、次世代につながるような投資、事業が必要と考えるがどうか。

**答** 財政構造強化指針に掲げるルールを遵守し、財政規律の確保に努め、財政構造の抜本的な改革が図られるよう取り組んでいく。

#### まちづくりの視点から見た 小中学校の再編

**問** 再編は教育の問題だけでなく、将来を見据えたまちづくりの一つと考えるが、市長の見解はどうか。

**答** 学校再編は、未来を開く子供

たちの教育環境の整備が目的。まちづくりとの関係も深いことから、教育委員会と連携して推進する。

**問** 子育てや、教育に力を入れる考えがあるならば、小中一貫校も検討すべきと思うがどうか。

**答** メリット・デメリットなど、本市にどのような方式がふさわしいか検討する。

#### 近代化遺産の 維持管理費と活用

**問** 宮原坑跡の史跡範囲拡大や、追加指定される三池炭鉱専用鉄道敷跡を市が取得する理由は何か。

**答** 国指定史跡の保存と管理を確実に進め、適切な公開・活用を行うため、国庫補助金を活用し公有化するもの。



宮原坑跡

**問** 国指定の重要文化財・史跡となった場合、民間所有と市所有では、固定資産税の減免や国からの措置に違いはあるのか。

**答** 3つの違いがあり、1つ目は重要文化財の家屋やその敷地は、地方税法上非課税で、その分は国の交付税算定上、減収補填の対象となる。2つ目は史跡となった土

地が民間所有の場合、市税条例に基づき減免するため、交付税の補填もない。3つ目はこれを市が所有する場合、税収が落ちるので交付税増加の要因となる。

**問** 三川坑跡の維持管理、またどう活用するのか具体策が見えない中、所有者との無償譲渡の協議に入るのは時期尚早ではないか。

**答** なくなってしまうと2度とつくりすることができないものであり、確実に残していくために市が取得し、今後、整備手法や財源など時間をかけ十分議論していきたい。

### 議会決議・意見に対する 市長回答について

#### 固定資産税の超過税率の逡減

**問** 超過税率を企業誘致や産業振興の観点からも段階的な税率逡減に努めるよう要望しているが、市長の考えはどうか。

**答** 超過税率を解消するためには、標準税率に戻しても収支均衡が継続できるような中期的な財政見直しが必要であり、現段階では非常に困難である。

**問** 超過税率の逡減は全議員の総意。やれる方法を見出してぜひ実現していただきたいと再度、強く要望するがどうか。

**答** 要望は真摯に受け止める。